

# 吉備高原学園高等学校 令和7年度入試 調査書作成上の注意

この調査書は、「岡山県立高等学校入学者選抜」における様式と同じものです。

出身中学校が岡山県内・県外に関わらず、本校所定の様式にての提出となります。

「岡山県立高等学校入学者選抜」の調査書様式にて出力できるなら、そちらを提出していただいてもかまいません。

調査書様式は、

本校Webサイト（出願準備サイト）<http://www.kibikogengakuen.ed.jp>からダウンロードできます。

記入方法は、「岡山県立高等学校入学選抜」の調査書と同じですが、以下の点も留意して作成してください。

本様式（Word形式・Excel形式）ファイルをダウンロードしたものを基に作成し、プリンタから出力したもののほか複写したものでもよい。

出力する際には、「A4サイズ・縦」で印刷すること。（厚紙などへの印刷・貼り付けは不要。）

出力した用紙に手書き、コンピュータで必要事項を入力し出力したもののどちらでもかまいません。

令和7年3月卒業見込者の第3学年の記録について

「2学期・12月末」までの記録とします。

ただし、12月末を待たずに調査書を発行・提出する場合は、作成日までの記録でかまいません。（その旨を所見欄へ記載してください。）

学習の記録について

「記述による評定」（文章表記）等、5段階による評価をしていない場合は、特記事項欄へその旨を記載し「副申書」として別紙（A4サイズとし、様式は問わない）で添付してください。

欠席が多いことなどで評価できない場合は、特記事項の欄へその旨を記載してください。

総合所見及び参考となる事項

欄内に書ききれない場合は、「副申書」（A4サイズとし、様式は問わない）の添付でもかまいません。

身体状況として、学校（特に寮生活）にて留意すべきことがあれば記載してください。

※中学校長の公印は不要です。厳封して、入学願書に添付して提出してください。

提出の際には、折り曲げてもかまいません。

複数回受験（再受験）の場合、2回目以降は1回目のコピーでかまいません。

## 各欄記入上の注意（令和7年度岡山県立高等学校入学者選抜実施要項を基にしています。）

【令和7年3月卒業見込者、令和4年3月以降の卒業生】・・・「令和4年3月以降の卒業生・卒業見込者用」を使用してください。

1 調査書は、本校Webサイト（出願準備サイト）からダウンロードしたものを基に作成し、プリンタから出力したもののほか複写したものでもよい。

2 ※欄は、記入しないこと。

3 義務教育学校については、第7学年を第1学年、第8学年を第2学年、第9学年を第3学年にそれぞれ読み替えるものとする。

4 各欄の記入は、次のとおりとする。

(1) ア 組番：原則として各学級の出席簿のとおりとする。

イ 性別：男女のいずれかを記入する。

(2) 「卒業後の動向」

欄に斜線を引く。（令和4年3月以降の卒業生は、「〇〇会社勤務」、「家事従事」、「〇〇高等学校第〇学年退学」等、中学校等卒業後の動向を具体的に記入する。）

(3) 「学習の記録」

ア 第1学年、第2学年の評定については、各教科とも、中学校生徒指導要録（以下「指導要録」という。）に記入してある5段階評定を転記する。

イ 第3学年の評定については、各教科とも、指導要録に記入する仕方によって、目標に準拠した評価による5段階評定を記入する。

なお、特別支援学級在籍者については、学級の実態に応じて記入する。

（令和4年3月以降の卒業生は、指導要録に記入してある5段階評定等を朱書する。）

ウ 「第3学年での観点別学習状況の評価」欄については、次ページの表に示す観点ごとに指導要録に記入する仕方によって、A、B、Cの評定を記入する。（令和4年3月以降の卒業生は、指導要録に記入してある「観点別学習状況」を転記する。）

エ 「特記事項」欄については、

特別に記入を要する事項（例えば、病気、けが等により評定に著しく変動のあった場合）があればその状況について記入する。特別に記入を要する事項が無い場合は、「特記事項なし」と記入する。

また、特別支援学級の在籍生徒等について、通常学級とは異なる特別支援学級独自の基準による評定である教科がある場合は、その旨を明記し、優れた特徴などがあれば、記入する。学習の記録が文章表記でなされている教科がある場合は「文章表記については別紙記載」と記入し、当該教科の評定記入欄には斜線を引き、副申書として別紙（A4サイズとし、様式は問わない）を添付する。

オ 「総合的な学習の時間の記録」欄については、「学習活動」欄に、この時間に行った学習活動、取組の内容（テーマ等）を記入し、「評価」欄に、生徒の学習状況における顕著な事項や生徒にどのような力が身に付いたかなどを記入する。（令和4年3月以降の卒業生は、指導要録に基づいて記入する。）

(4) 「特別活動の記録」

ア 第1学年、第2学年については、指導要録に記入してある「特別活動の記録」を転記し、第3学年については、指導要録の記入の仕方によって記入する。（令和4年3月以降の卒業生は、第3学年についても、指導要録に記入してある「特別活動の記録」を転記する。）

イ 「委員等」欄については、各学年における主な係名や委員名及び学校行事における役割を記入する。

(5) 「行動の記録」

第1学年、第2学年については、指導要録に記入してある「行動の記録」を転記し、第3学年については、指導要録の記入の仕方によって記入する。（令和4年3月以降の卒業生は、指導要録に記入してある「行動の記録」を転記する。）

(6) 「出欠の記録」

ア 第1学年、第2学年については、指導要録に記入してある「欠席日数」を転記し、第3学年については、12月末現在（または調査書作成日まで）で記入する。（令和4年3月以降の卒業生は、第3学年についても、指導要録に記入してある「欠席日数」を転記する。）

イ 「主な欠席理由」欄には、各学年で、欠席日数15日以上又は連続して6日以上の場合は、必ずその主な理由を記入する。ただし、出席停止、忌引き等の日数は、欠席日数に含めない。

(7) 「新体力テストの記録」

ア 第3学年において実施したものを記入する。

イ 実施していない場合（欠席等により受けていない場合を含む）や、一部種目を欠いて実施している場合は、「総合評価」欄に斜線を引き、その理由を「備考」欄に記入する。

(8) 「総合所見及び参考となる事項」

部活動の所属部名及び主な活動状況、特別活動に関する事実及び所見、行動に関する所見、校外における活動状況（ボランティア活動、文化・スポーツ活動等）など生徒の成長の状況を記入する。

なお、当初参加が決定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため中止、延期となった大会や行事等についても記入する。

また、特に入学者選抜の資料として高等学校が知っておく必要があると考えられる事項（検査、調査、観察等を通して見られた生徒の適性、特技等）を記入する。

5 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設からの志願者の調査書は、上記1から4に準じて作成する。

**[令和3年3月以前の卒業生]**・・・「令和3年3月以前の卒業生用」を使用してください。

- 1 調査書は、本校Webサイト(出願準備サイト)からダウンロードしたものを基に作成し、プリンタから出力したもののほか複写したものでよい。ただし、調査書の様式は令和3年度のものとする。
- 2 ※欄は、記入しないこと。
- 3 義務教育学校については、第7学年を第1学年、第8学年を第2学年、第9学年を第3学年にそれぞれ読み替えるものとする。
- 4 各欄の記入は、次のとおりとする。
  - (1) ア 組番：原則として各学級の出席簿のとおりとする。  
イ 性別：男女のいずれかを記入する。
  - (2) 「卒業後の動向」  
「〇〇会社勤務」、「家事従事」、「〇〇高等学校第〇学年退学」等、中学校等卒業後の動向を具体的に記入する。
  - (3) 「学習の記録」  
ア 第1学年、第2学年の評定については、各教科とも、中学校生徒指導要録(以下「指導要録」という。)に記入してある5段階評定を転記する。  
イ 第3学年の評定については、指導要録に記入してある5段階評定等を朱書する。  
なお、特別支援学級在籍者については、学級の実態に応じて記入する。  
ウ 「第3学年での観点別学習状況の評価」欄については、次ページの表に示す観点ごとに指導要録に記入してある「観点別学習状況」を転記する。  
エ 「特記事項」欄については、特別に記入を要する事項(例えば、病気、けが等により評定に著しく変動のあった場合)があればその状況について記入する。特別に記入を要する事項が無い場合は、「特記事項なし」と記入する。  
また、特別支援学級の在籍生徒等について、通常学級とは異なる特別支援学級独自の基準による評定である教科がある場合は、その旨を明記し、優れた特徴などがあれば、記入する。学習の記録が文章表記でなされている教科がある場合は「文章表記については別紙記載」と記入し、当該教科の評定記入欄には斜線を引き、副申書として別紙(A4サイズとし、様式は問わない)を添付する。  
オ 「総合的な学習の時間の記録」欄については、指導要録に基づいて記入する。
  - (4) 「特別活動の記録」  
ア 指導要録に記入してある「特別活動の記録」を転記する。  
イ 「委員等」欄については、各学年における主な係名や委員名及び学校行事における役割を記入する。
  - (5) 「行動の記録」  
指導要録に記入してある「行動の記録」を転記する。
  - (6) 「出欠の記録」  
ア 指導要録に記入してある「欠席日数」を転記する。  
イ 「主な欠席理由」欄には、各学年で、欠席日数15日以上又は連続して6日以上の場合は、必ずその主な理由を記入する。ただし、出席停止、忌引き等の日数は、欠席日数に含めない。
  - (7) 「新体力テストの記録」  
ア 第3学年において実施したものを記入する。  
イ 実施していない場合(欠席等により受けていない場合を含む)や、一部種目を欠いて実施している場合は、「総合評価」欄に斜線を引き、その理由を「備考」欄に記入する。
  - (8) 「総合所見及び参考となる事項」  
部活動の所属部名及び主な活動状況、特別活動に関する事実及び所見、行動に関する所見、校外における活動状況(ボランティア活動、文化・スポーツ活動等)など生徒の成長の状況を記入する。  
なお、当初参加が決定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため中止、延期となった大会や行事等についても記入する。  
また、特に入学者選抜の資料として高等学校が知っておく必要があると考えられる事項(検査、調査、観察等を通して見られた生徒の適性、特技等)を記入する。
- 5 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設からの志願者の調査書は、上記1から4に準じて作成する。

**※平成30年3月以前の卒業生**

学校教育法施行規則にある指導要録の取扱いにしたがって、記入できる範囲で、指導要録を転記することにより作成する。

(参考) 観点別学習状況における各教科の評価の観点

教科	令和6年3月卒業見込者、 令和5年3月卒業生及び令和4年3月卒業生		令和3年3月以前の卒業生	
	観点		観点	
国語	I	知識・技能	I	国語への関心・意欲・態度
	II	思考・判断・表現	II	話す・聞く能力
	III	主体的に取り組む態度	III	書く能力
			IV	読む能力
			V	言語についての知識・理解・技能
社会	I	知識・技能	I	社会的事象への関心・意欲・態度
	II	思考・判断・表現	II	社会的な思考・判断・表現
	III	主体的に取り組む態度	III	資料活用の技能
			IV	社会的事象についての知識・理解
数学	I	知識・技能	I	数学への関心・意欲・態度
	II	思考・判断・表現	II	数学的な見方や考え方
	III	主体的に取り組む態度	III	数学的な技能
			IV	数量や図形などについての知識・理解
理科	I	知識・技能	I	自然事象への関心・意欲・態度
	II	思考・判断・表現	II	科学的な思考・表現
	III	主体的に取り組む態度	III	観察・実験の技能
			IV	自然事象についての知識・理解
音楽	I	知識・技能	I	音楽への関心・意欲・態度
	II	思考・判断・表現	II	音楽表現の創意工夫
	III	主体的に取り組む態度	III	音楽表現の技能
			IV	鑑賞の能力
美術	I	知識・技能	I	美術への関心・意欲・態度
	II	思考・判断・表現	II	発想や構想の能力
	III	主体的に取り組む態度	III	創造的な技能
			IV	鑑賞の能力
保健体育	I	知識・技能	I	運動や健康・安全への関心・意欲・態度
	II	思考・判断・表現	II	運動や健康・安全についての思考・判断
	III	主体的に取り組む態度	III	運動の技能
			IV	運動や健康・安全についての知識・理解
技術・家庭	I	知識・技能	I	生活や技術への関心・意欲・態度
	II	思考・判断・表現	II	生活を工夫し創造する能力
	III	主体的に取り組む態度	III	生活の技能
			IV	生活や技術についての知識・理解
外国語	I	知識・技能	I	コミュニケーションへの関心・意欲・態度
	II	思考・判断・表現	II	外国語表現の能力
	III	主体的に取り組む態度	III	外国語理解の能力
			IV	言語や文化についての知識・理解